



吉岐市

議会だより

第89号

令和8年
5月14日発行



吉岐市春の市
4月18日に瀬戸市が開催されました。



【主な内容】

1・3月会議で決めたこと	2	一般質問(9人が登壇)	10
令和8年当初予算	5	市民の声	15
委員会レポート	10	議会だよりクイズ	18

議会の情報を発信中!

Facebook



1・3月会議で決めたこと



1・3月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆「吉崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」ならびに「吉崎市長、副市長及び教育長の給与に関する条例」の一部改正について

国家公務員の特別職等の給与に関する取扱いの状況を踏まえ、議会議員、市長、副市長、教育長の期末手当の支給率を調整するため、所要の改正を行う。

◆吉崎市行政組織条例の一部改正について

市長の権限に属する事務分掌について見直しを行い、行政ニーズへの対応と、より効率的な行政運営を図るため、所要の改正を行う。

- (1) 市民生活に近い視点で支援を行うため「市民部」を「市民生活部」に名称を変更する。
- (2) 妊娠・出産から高齢期までを一気通貫で支援する体制を確立するため「保健環境部」を「健康未来部」に名称を変更する。
- (3) 市民生活に欠かせない基盤を一元的に守り抜くため「建設部」を「社会基盤部」に名称を変更する。
- (4) 健康未来部に、子育て支援課の業務を移管し、社会基盤部には環境衛生課の業務を移管する。
施行日：令和8年6月1日

◆吉崎市乳児等通園支援事業の設備整備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

令和8年4月1日より吉崎市内の保育施設で「誰でも通園制度」を実施するため、新たに条例を制定。
施行日：令和8年4月1日

◆吉崎市教育委員会教育長の任命について

山口 千樹 氏の再任について同意した。

審議結果はP8の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和7年度 補正予算

○令和7年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	1月補正予算額	3月補正予算(専決)	3月補正予算額	補正後予算額合計	
一般会計	27,035,671	886,816	21,210	△306,600	27,637,097	
特別会計	国民健康保険	3,358,365	377		△11,579	3,347,163
	後期高齢者医療	446,292			6,845	453,137
	介護保険	3,913,104	3,106		11,075	3,927,285
	三島航路	142,785	4,143			146,928
	農業機械銀行	163,387			△7,086	156,301
	合計	8,023,933	7,626	0	△745	8,030,814
一般会計・特別会計の合計	35,059,604	894,442	21,210	△307,345	35,667,911	

○企業会計

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	1月補正予算額	3月補正予算(専決)	3月補正予算額	補正後予算額
水道事業会計	収益的収入	731,850	△320			731,530
	収益的支出	822,711	△3,019			819,692
	資本的収入	255,820				255,820
	資本的支出	471,891				471,891
下道事業会計	収益的収入	394,116	80		△7,578	386,618
	収益的支出	403,251	939		△5,078	399,112
	資本的収入	151,089				151,089
	資本的支出	198,143			△2,500	195,643

どえな予算のあると？

1月補正から

自動釣銭機(キャッシュレス機能付)

整備事業(会計課)

1,226万5千円

新規

各庁舎に自動釣銭機を導入することで、現金の取り扱いに係る窓口業務の改善及び利用者の利便性向上を図る。

●事業内容

- ①自動釣銭機(キャッシュレス機能付) 4台(各庁舎1台)
- ②モバイル端末(キャッシュレス機能一体型) 3台(湯本・那賀・箱崎事務所)



キク

重点支援事業費

総額 4億7,074万1千円

「強い経済」を実現する総合経済対策に係る重点支援地方交付金の推奨事業メニューを活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援の一環として実施する。

物価高騰対応生活応援給付金事業(上下水道課)

2億5,417万8千円

新規

水道料金等の負担軽減による消費下支えのため、住民1人当たり1万円の生活応援給付金を支給。

●事業内容

- ・支給対象者：令和8年1月1日時点において、本市に住民登録のある全ての住民
- ・給付額：住民1人当たり1万円(世帯単位で合算した給付額を振り込む)
- ・給付方法：プッシュ型での口座振込等による給付を含め、速やかな支援の実施に努める
- ・納付時期：3月下旬頃から通知等を発送し、順次給付を開始
 - ※市に口座情報がない方は、受取口座等の申請手続きを行っていただき、受取口座の登録後の給付となる。
- ・事業費：給付金 2億3,264万円、事務費 2,153万8千円

消費下支えプレミアム付き商品券発行事業(商工振興課) 2億1,656万3千円 新規

食品・生活用品等の長引く高騰に悩む市民生活の下支えのため、プレミアム付き商品券を発行し、併せて消費拡大による商工事業者支援と地域経済の活性化を図る。

●事業内容

- ・発行内容：4,000円分の商品券を2,000円で販売（プレミアム率100%）
- ・発行総額：10万セット（ひとり5セットまで購入可能）
- ・販売時期：令和8年4月8日～17日 ☆販売は終了しています☆
- ・利用期間：令和8年9月30日
- ・換金期間：令和8年10月30日
- ・事業費：2億1,531万9千円、事務費 124万4千円

3月補正**SDGs推進事業費【SX推進事業】（一緒に推進課）3,166万4千円**

第3期吉岐市SDGs未来都市計画に掲げる2030年のあるべき姿に向けて、人口減少・超高齢化に起因する地域課題と向き合い、地域の持続可能性向上に資する各種事業を展開する。

- ・在宅医療や通院手段の課題が深刻化する中で、遠隔医療の導入により、地域医療の充実を目指す。
- ・SDGs教育の実施、高校イノベーションプログラムの実施、市民対話会の開催により、「対話」と「共創」のまちづくりを推進する。

●事業内容**①医療DX 550万円**

ウェアラブル端末（アップルウォッチ等）を活用した遠隔医療の実証

②高校地域連携・共創支援 957万円

- ・高校地域連携コーディネーター設置
- ・高校イノベーションプログラム（コンテスト等）
- ・中学SDGs教育の実施

③共創イベントの推進 770万円

- ・市民対話会
- ・エンゲージメントパートナー企業等との共創推進

④情報発信等 462万円

本事業に関連した共創の取組、各種イベント等の情報発信

⑤プロジェクト管理費 427万4千円**地域未来交付金（地域防災緊急整備型）事業（総務課）1,600万円 新規**

避難生活環境改善のため、避難所生活で必要となる資機材等について整備を進めていく必要がある。特にパーティションや簡易ベッドについては、避難所の開設時から設置することが求められており、整備を進めていく必要がある。

●事業内容

- 災害用備品の購入
- ・防災資機材備蓄倉庫
 - ・テント式パーティション
 - ・石油ストーブ
 - ・簡易ベッド
 - ・簡易トイレ・トイレ用テントセット

負担割合：国1/2、市1/2

令和8年度当初予算

総額 325億9,438万2千円 (対前年度当初予算比 1.8%減)

■ 一般会計 247億5,000万円

■ 特別会計 78億4,438万2千円

- ・国民健康保険事業……………32億1,438万7千円
- ・後期高齢者医療事業……………4億6,828万6千円
- ・介護保険事業……………38億6,465万5千円
- ・三島航路事業……………1億4,818万2千円
- ・農業機械銀行……………1億4,887万2千円



■ 企業会計

・水道事業会計

収益的収入…7億4,598万9千円
 収益的支出…8億8,818万8千円
 資本的収入…3億2,267万3千円
 資本的支出…5億7,923万9千円

・下水道事業会計

収益的収入…3億8,433万2千円
 収益的支出…3億7,770万1千円
 資本的収入…1億7,308万6千円
 資本的支出…2億3,767万6千円

私たちの暮らしに身近な事業に注目

★母子保健事業（子育て支援課）

事業費 3,590万5千円（うち子ども・子育て支援交付金253万1千円、母子保健衛生費国庫補助金106万2千円、地域子ども・子育て支援事業費補助金138万5千円、ふるさと応援基金2,234万3千円ほか）

事業概要 母子保健法等に基づき、母性並びに乳幼児の健康の保持・増進を図り、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援を提供する。また、医療的理由で市外での健診や分娩が必要な妊婦への交通費、宿泊費の一部助成を行うことで経済的負担の軽減を図り、適切な医療・保健サービスを受けることができる環境を整える。

- ①妊婦一般健康診査 ②産婦健康診査 ③産後ケア事業
- ④妊娠・出産のための交通費宿泊費助成事業 **新規**

当該妊婦が健診時または分娩時に市外の分娩取扱施設を受診するために要した往復海上航空交通費を助成する。また、分娩時、市外での待機宿泊が必要と医師に判断された場合は宿泊費10,000円から自己負担額2,000円を控除した額を助成する。

★こどもの居場所づくり事業【地域おこし協力隊】（子育て支援課）

事業費 487万5千円

事業概要 地域のニーズを把握、資源の発掘・活用、その地域で居場所を求めるこどもを居場所につなげる等、地域の居場所全体のコーディネートを行い、安定的で質の高い居場所運営において必要となる運営資金のやりくりや人材の採用・育成等の組織運営をサポートする。市民に対しての苓岐市内統一したこどもの居場所づくり情報発信のためのリーフレット・ホームページ作成・こどもの居場所づくりネットワーク事業の構築・連携・こどもの支援につながる業務。

★離島俳句甲子園事業〈仮称〉（文化スポーツ振興課） **新規**

事業費 298万円（うちながさき県民文化祭事業補助金149万円ほか）

事業概要 昨年、長崎県全域で開催された「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭～ながさきピース文化祭2025～」の壱岐市大会で、「俳句」を活用した事業が開催され、その後継事業として、全国離島の小学生を対象として開催する「全国離島俳句甲子園」の実行委員会へ補助する。全国の離島の小学生をネットワークで繋ぎ、「俳句」という子どもの心を育てる「最小にして最大のツール」を活用し、言語表現や創作活動に触れる場を創出する。また、事業内では一流の講師による「俳句レクチャー」等を行うことで、子どもたちの興味と実力を確実に引き出せるよう取り組む。

- ・実行委員会への市補助金：広報印刷等 80万円
- 講師謝礼金 130万円
- 表彰等関係 88万円

★文化スポーツ誘致事業（文化スポーツ振興課）

事業費 2,725万円（うち過疎対策事業債（過疎地域持続的発展特別事業）380万円、企業版ふるさと応援基金210万円、ふるさと応援基金400万円、過疎地域持続的発展特別事業基金1,490万円ほか）

事業概要 下記①の助成金について、文化関係団体では、これまで高校生に限っていた補助対象枠について、文化活動を行う一般団体まで補助対象枠を拡大する。壱岐市で合宿を実施する文化スポーツ関係団体等に対して、滞在費を助成することで、島内外の交流人口の拡大、宿泊施設の利用拡大などの活性化を図る。また、プロチームを誘致することで、市のPRや島の子どもの競技力向上を図る。

- ①壱岐市文化スポーツ団体等誘致促進助成金 1,700万円
- ②壱岐市スポーツ大会等開催助成事業補助金 400万円
- ③スポーツ合宿拠点づくり推進事業補助金負担金 400万円
- ④壱岐市スポーツ合宿誘致促進事業費補助金 225万円

★英語発信力強化事業（教育総務課） **新規**

事業費 229万2千円（うち地域未来交付金57万2千円、英語発信力強化事業補助金114万5千円ほか）

事業概要 英語をコミュニケーションツールとして社会で活躍できる「話せる人材」の育成に向けた環境整備が必要であり、生徒の英語発話量の増加を図るため、学習用タブレットで生成AIアプリを活用し「話す」機会を個別に多く設定できる環境を整えることで、生徒の英語力向上を期す。

★学校給食支援事業（教育総務課）

事業費 1億2,212万2千円（うち物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金5,960万3千円、給食費負担軽減交付金6,251万9千円）

事業概要 令和6年度から米の価格や給食材料費の高騰を要因として、給食費が上昇し、小学校月額6,000円、中学校月額7,000円に変更予定となったことから、子育て世帯に係る経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のために、小・中学校の給食費を継続して支援する。

令和8年度から、小学校給食費については、国の「給食費負担軽減交付金」が創設されたことにより支援の拡充を行う。国の交付金で不足する額については、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し完全無償化を図る。中学校給食費は国の「給食費負担軽減交付金」の支援がないが、令和8年度については「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し無償化の取組を行う。

小学校 月額6,000円×1,093人×11月=7,213万8千円

中学校（月額7,000円×644人+虹の原月額6,000円×6人）×11月=4,998万4千円

★再生可能エネルギー・水素実用化実証事業（地域共創課）

事業費 3億2,029万6千円（エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金3億2,029万6千円）

事業概要 令和6年度に実施した、長崎県壱岐病院へのRE水素システムの導入に向けた現地調査及び設計業務に基づき、令和7年度に開発、製造を行った同システムの構成機器等を同病院に導入し、実証試験に着手する。

（主な予算内容）

- ・有識者助言委員会運営関係（謝金・費用弁償・会場借上料等）：169万2千円
 - ・実証試験に向けたシステム開発等業務関係：3億1,860万4千円
- 負担割合：国10／10

★未来大国づくり応援補助金事業（一緒に推進課）

事業費 3,245万円（うち未来大国づくり応援補助金1,622万5千円、ふるさと応援基金1,622万5千円）
事業概要 吉岐新時代プロジェクト「まなびのみなと」の一環である「吉岐みらいキャンパス構想」に基づき、「学び」を切り口に、大学、企業研修、教育旅行、キャリアアップ学習、企業等の実証事業を誘致し、本市の人口構造のくびれゾーン（19歳～39歳）人口が、中長期滞在し、関係人口化する仕組みづくりを行う。

- ①吉岐の魅力の再編と学びのコンテンツ化プロジェクト 1,980万円
- ②交流促進プロジェクト 935万円
- ③戦略的情報発信強化プロジェクト 330万円

★勝本海業プロジェクト（水産課）

事業費 5,400万円（うち地域未来交付金1,500万円、過疎対策事業債3,900万円）
事業概要 勝本港の辰の島遊覧船利用客は近年増加しているが、遊覧船乗場が商業エリアと離れていたため、観光消費につながる相乗効果が生まれていなかった。そこで、勝本地区公民館前の湾内を埋め立て、辰の島遊覧船乗場移設等の整備を行い、地域活性化につながる「海業」に取り組む。

- ①埋立工事 2,400万円
- ②地域活性化拠点施設等設計 3,000万円

★芦辺港ターミナル整備事業（水産課）

事業費 8,500万円（うち過疎対策事業債7,650万円ほか）
事業概要 芦辺港のターミナル一元化を図るため、県工事により令和6年4月にジェットfoil乗場が移設された。市では、ターミナルビルや乗下船通路及びターミナル周辺の駐車場等の整備を行い、利用者の安全性・快適性の向上を図る。

- ・芦辺港ターミナル整備工事 9工区・10工区・11工区

★野犬対策事業（環境衛生課）

事業費 293万8千円（ふるさと応援基金293万8千円）
事業概要 長崎県が推進する「動物殺処分ゼロプロジェクト」の実現に向けて、野犬を捕獲することで繁殖を防止し、殺処分数の減少に取り組む。野犬減少の実績のある山口県周南市を参考とし、野犬減少に効果を発揮した「遠隔捕獲システム」を導入し、成犬の捕獲に取り組む。
 （主な内容）

- ①遠隔捕獲システム通信費 12万6千円
- ②遠隔捕獲システム備品購入費
 ・遠隔監視・自動操作システム 180万3千円 ・移動囲い罠 94万5千円

★消防施設・機器等整備事業（消防本部）

事業費 3,754万4千円（うち緊急防災・減災事業債2,050万円、過疎対策事業債1,370万円ほか）
事業概要 災害現場における車両や資機材等を整備し、安全且つ迅速な現場活動を行うことで、消防力の充実を図り市民の生命と財産を守るため、消防施設・機器等を年次的に更新する。

- ①小型動力消防ポンプ購入
 石田地区第3分団3部、勝本地区第1分団（築出）、勝本地区第6分団
- ②消防団車両購入
 郷ノ浦地区第2分団2部、勝本地区第4分団（東）
- ③防火水槽建設事業
 郷ノ浦町原島 1基

★地域DX推進事業（一緒に推進課）

事業費 2,575万6千円（うち合併振興基金1,862万7千円ほか）
事業概要 「行かない市役所」＝「窓口に行かなくても行政手続きができる市役所」を目指すため、デジタルツール・サービスを活用し、行政サービスの向上、行政手続きのオンライン化等の拡充により、どこでも手続きができるよう環境の整備を図るとともに、内部のデジタル人材の育成、業務の省力化を図る。

- 市民向け：支所窓口と担当課をつなぐ「疑似遠隔窓口支援システム」
 スマホで被害報告「災害被害報告システム」
 AIが24時間対応「ホームページ用AIチャットボット」
- 内部：職員の業務をサポート「生成AI活用基盤」等

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
1月	議案第1号	壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	省略	1/20	可決
	議案第2号	壱岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	省略	1/20	可決
	議案第3号	壱岐市職員の給与に関する条例及び壱岐市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	省略	1/20	可決
	議案第4号	令和7年度壱岐市一般会計補正予算(第7号)	省略	1/20	可決
	議案第5号	令和7年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	省略	1/20	可決
	議案第6号	令和7年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	省略	1/20	可決
	議案第7号	令和7年度壱岐市三島航路事業特別会計補正予算(第1号)	省略	1/20	可決
	議案第8号	令和7年度壱岐市水道事業会計補正予算(第1号)	省略	1/20	可決
	議案第9号	令和7年度壱岐市下水道事業会計補正予算(第2号)	省略	1/20	可決
3月	報告第1号	令和7年度壱岐市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	—	3/6	報告済
	議案第10号	壱岐市行政組織条例の一部改正について	総務産業	3/19	可決
	議案第11号	壱岐市職員等の旅費に関する条例の一部改正について	総務産業	3/19	否決
	議案第12号	壱岐市立図書館条例の一部改正について	市民文教	3/19	可決
	議案第13号	壱岐市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市民文教	3/19	可決
	議案第14号	壱岐市堆肥センター条例の一部改正について	総務産業	3/19	可決
	議案第15号	壱岐市火災予防条例の一部改正について	市民文教	3/19	可決
	議案第16号	過疎地域持続的発展計画の策定について	総務産業	3/19	可決
	議案第17号	市道路線の認定について	総務産業	3/19	可決
	議案第18号	令和7年度壱岐市一般会計補正予算(第9号)	予算特別	3/19	可決
	議案第19号	令和7年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	市民文教	3/19	可決
	議案第20号	令和7年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	市民文教	3/19	可決
	議案第21号	令和7年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	市民文教	3/19	可決
	議案第22号	令和7年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算(第1号)	総務産業	3/19	可決
	議案第23号	令和7年度壱岐市下水道事業会計補正予算(第3号)	総務産業	3/19	可決
	議案第24号	令和8年度壱岐市一般会計予算	予算特別	3/19	可決
	議案第25号	令和8年度壱岐市国民健康保険事業特別会計予算	市民文教	3/19	可決
	議案第26号	令和8年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計予算	市民文教	3/19	可決
	議案第27号	令和8年度壱岐市介護保険事業特別会計予算	市民文教	3/19	可決
	議案第28号	令和8年度壱岐市三島航路事業特別会計予算	総務産業	3/19	可決
	議案第29号	令和8年度壱岐市農業機械銀行特別会計予算	総務産業	3/19	可決
	議案第30号	令和8年度壱岐市水道事業会計予算	総務産業	3/19	可決
	議案第31号	令和8年度壱岐市下水道事業会計予算	総務産業	3/19	可決
	同意第1号	壱岐市教育委員会教育長の任命について	省略	3/19	同意
	同意第2号	壱岐市教育委員会委員の任命について	省略	3/19	同意
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/19	了承
	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	3/19	了承
	発議第1号	壱岐市議会委員会条例の一部改正について	省略	3/19	可決
	発議第2号	壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	省略	3/19	可決

◎1・3月会議で賛否(賛成、反対)のあった議案

議案名番号	菊池弘太	酒井真吾	松本順子	樋口伊久磨	武原由里子	山口欽秀	山内豊	山川忠久	植村圭司	清水修尚	赤木貴尚	音嶋正吾	小金丸益明	中田恭一	中原正博	賛成	反対	結果
議案第1号 吉岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	11	4	可決
議案第2号 吉岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2	可決
議案第10号 吉岐市行政組織条例の一部改正について	○	○	×	○	×	×	欠席	○	○	○	○	×	○	○	○	10	4	可決
議案第14号 吉岐市堆肥センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第18号 令和7年度吉岐市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第24号 令和8年度吉岐市一般会計予算	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第25号 令和8年度吉岐市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第26号 令和8年度吉岐市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第27号 令和8年度吉岐市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
発議第1号 吉岐市議会委員会条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
発議第2号 吉岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決

土谷勇二議員は議長のため採決には入りません。

議案第1号：反対討論2件、第2号：反対討論1件、第10号・第14号：反対討論各1件、第18号：反対討論1件・賛成討論1件、第24号：反対討論1件、賛成討論2件、第25～27号：反対討論・賛成討論各1件あり。



委員会レポート

総務産業常任委員会

3月会議で付託された議案11件については全て可決した。

市民文教常任委員会

3月会議で付託された議案9件については全て可決した。

予算特別委員会

3月会議で付託された議案2件については原案のとおり可決した。



一般質問

9人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を聴くことができます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によってことなります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。





松本 順子 議員

質問 外国人との共生社会に向けたルールづくりは

答 国の制度を把握し県の施策との整合性を図り、事業主等との情報共有を行い、連携してつなぎ役としての機能を果たす

松本 ルールや共有すべきことを理解してもらう方法は。

産業推進部長 ホームページの言語切り替えと、国や県の関連相談窓口等につなぐ。翻訳サイトやアプリ等を活用する。

松本 彦根市に住所を置かず不動産を持つ外国人の把握は。

市民部長 市レベルでの把握は難しい。国内非居住者は国で監視、情報収集可能。

松本 移住者や公民館未加入者に公民館への加入を促す良い方法はないか。

地域振興部長 自治公民館加入を促す文書を転入手続き時に配布。啓発活動を行っている。

彦根市の犬猫問題について

松本 今後のTNR活動はどうなるのか。県知事

交代の影響は。

保健環境部長 TNR継続は無い。知事交代による影響はない。

松本 野犬に餌やりをしている人や登録をせずに飼育している人への指導は。厳しい条例をと要望の声がある。対応は。

保健環境部長 保健所と連携して訪問指導を行っている。国の法律、県の条例で罰則はある。それを超える条例はつけれない。

松本 外飼いの犬に対して不妊去勢手術の補助金を。

保健環境部長 過去に実施したが、外飼いの犬に対する実効性が無かった。費用対効果が無いため、助成事業の再開は無い。

イルカトレーナー専門学校について

松本 海洋水産学の専門ではない学校が選ばれた理由は。今後の計画と赤字解消への道筋は。

地域振興部長 指定管理者と学園の連携によるもの。実地研修等による収益で経営の安定化を図り、トレーナー以外の資格取得の可能性は、市にもプラスになる。令和9年4月開校を目指す。



植村 圭司 議員

質問 フェリー唐津航路活性化と船員不足対策を

答 危機感をもって検討する

植村 フェリー印通寺唐津便は赤字であり、船員不足も顕著。減便になっては問題。航路の維持安定化対策を問う。

総務部長 彦根市と唐津市を結ぶ重要な生活航路だが、利用者の減少と物価や燃油の高騰等で年間約2億円前後の赤字。また、船員不足や人材高齢化の影響で運航維持に非常に強い懸念を抱いている。同航路の※補助航路化に向けて、国・県・航路事業者と連携し、利用促進策の強化、運航経費の抑制、安定的な船員確保対策等について協議中。危機感をもってスピード感ある総合的な検討を進める。唐津港からの接続バス改善は、佐賀県

や唐津市、交通事業者等の関係機関に対し、具体的な申入れを行う。補助航路の最大のメリットは赤字部分に対して公的補助が入り、運航の安定性が格段に高まる。運航経費の全てを利用者運賃に転化せず、急激な運賃上昇を抑制する点等がある。一方、デメリットは、制度改正や国・県の方針変更の影響を受ける可能性があり、運航計画やダイヤ編成、運賃設定等で一定の制約が生じる。船員不足には、求人情報の提供などを行い、事業者の採用活動を補完する取組を検討する。

市長 補助航路化を鍵にして、唐津航路のみならず、彦根と本土の航路を守っていきたい。

植村 国・県等関係機関との連携を緊密にして検討を。船員不足で地域おこし協力隊を利用している事例もある。今後も研究を。

※注釈：補助航路化

国・県の公的支援を受けながら航路を維持する仕組み。



酒井 真吾 議員

質問 旧芦辺中学校グラウンドの活用について

答 現在、利活用について検討中

酒井 旧芦辺中学校の第2グラウンドを埋め上げし、陸上競技場の施設を造ることは、壱岐の未来につながると考えるが、執行部の考えは。

市長 例えば、400mトラックのタータンの分があれば本当にスポーツ合宿に来るのか、と。造ったけど来なかった、ということになってはいけないため、しっかりと研究しながら、本当にこれがあれば来る、というものを現在、研究している。子ども達の施設、教育についても施設整備も重要だと思っている。外から呼び込む観光交流施設としても価値がある、というような合わせ技で現在、何かできないか考えている。諦めず、何かよい落としどころがないか、引き続き検討していきたい。



武原 由里子 議員

質問 碧雲荘・花雲亭の保存・修復と利活用について

答 イベント等で使うことで松永翁や熊本利平のを知る機会に

武原 国登録文化財「碧雲荘」と市指定文化財「花雲亭」の現状と課題は。

地域振興部次長 碧雲荘は建設から84年、花雲亭は移築から83年経過。石田社協が通常管理。市民に熊本利平や松永安左エ門の人物像や壱岐や日本での功績を知ってもらうことが必要。

武原 松永記念館と連動させた碧雲荘と花雲亭の利活用は。

地域振興部次長 観光、文化伝承、市民対話や交流の場など多面的な活用が期待できる。

武原 茶道教室の先生方もここを使いたいと考えておられるが、市としてタイアップする計画は。

地域振興部次長 周知やイベント等の呼びかけをする。

武原 松永記念館リニューアルの現状と課題は。

地域振興部次長 石田の「まなびのみなとプロジェクト」と連動し検討中。財源確保が重要な課題。松永翁ゆかりの電力関連法人各社へ骨子説明

B&G海洋センターの利用について

酒井 B&G海洋センター及び旧芦辺中体育館を室内公園として利用できないか。

地域振興部次長 定期利用を含め、一定の利用者がいることから、市民のスポーツの場としての役割を継続することとし、現時点において室内公園などの用途変更は考えていない。

壱岐市島内の公衆トイレの状況・設置について

酒井 公衆トイレの和式から洋式への改修は可能か。また、ウルトラマラソン時の仮設トイレも洋式に変更可能か。

地域振興部長 これまでも段階的に公衆トイレの洋式化を進めている。一度に実施することは困難だが、今後も計画的に整備を図る。ウルトラマラソンの仮設トイレは、令和8年度の大会においては、全ての仮設トイレを洋式化することとしている。

し、引続き接触。

令和8年度当初予算について

武原 目玉政策と財源は。

市長 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、小中学校の学校給食費の完全無償化を実施。

武原 市長の重点政策壱岐新時代プロジェクトの進捗状況は。

市長 この1年間国や県の財源を活用し取組み始めたところ。詳細は3月30日市民向けに説明。

地域共生社会の実現に向けた次期地域福祉計画の策定について

武原 次期地域福祉計画にもたらされる「地域生活圏」の意義とその重層性について

市民部長 主体の連携、事業の連携、地域の連携が必要条件。生活基盤が持続可能になることで福祉政策がより効果的に機能。

武原 地域生活圏において、地区公民館の役割は。

総務部次長 公民館は生涯学習や地域交流の場。地域課題の解決や共助を中心に担うのがまちづくり協議会。



小金丸 益明 議員

質問 小学校の統廃合について

答 令和8年度から統廃合の検討に入る

小金丸 小学校の児童の数の推移、現状は。複式学級が非常に多くなり、危惧する保護者が増えている。統廃合の考えは。

教育長 令和8年度から壱岐市内の小学校の統廃合については、動き出そうと思っている。すぐやるという意味ではなく、どういう環境になっているか、どこの小学校からやるべきか、その結果何が起こるか、ということをも十分調査・研究して、動き出そうと思っている。

小金丸 現市長として統廃合に関する考え方は。

市長 私も統廃合について検討を始めるべき時期に来ていると思う。一番大事なのは、子どものために何が良いのかということ。統廃合はメリット・デメリットの両面があり、いろんな考え方や立場がある。子どもに一番良い教育を与えるためにはどうするべきかが大事。

小金丸 地域の声をアンケートで調査したらどうか。

教育長 何らかの形で意見を聴きたい。市民の意見を聴くところから始めたい。

児童数等の推移について 令和8年3月9日 学校教育課 (単位:人)

	実績		予想			
	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
盈科小	235	221	218	215	210	201
渡良小	52	51	47	43	34	29
三島小	2	2	2	1	1	0
柳田小	41	37	32	26	22	23
沼津小	41	42	44	37	32	26
志原小	35	33	34	33	35	36
初山小	38	34	34	29	26	23
鯨伏小	56	50	47	43	34	35
勝本小	60	49	42	44	42	40
霞翠小	63	59	55	56	46	43
箱崎小	52	54	52	46	47	45
瀬戸小	70	64	57	60	52	54
那賀小	79	74	65	63	49	45
田河小	80	79	72	70	58	53
八幡小	32	33	33	30	27	26
芦辺小	39	38	32	31	34	31
石田小	149	135	142	138	131	125
筒城小	34	29	25	20	19	14
合計	1158	1084	1033	985	899	849
学級数	87	82	82	79	74	73
うち複式学級数	21	25	26	26	29	32

※8年度以降は予想であり、児童の異動により数は変動します。
※学級数には、特別支援学級は含まれません。



山内 豊 議員

質問 市長任期、折り返しの自己評価は

答 市政運営を順調に進めている

山内 「一緒に前へ、壱岐新時代へ」をスローガンに掲げ、政策パンフレットに起こした100の政策の進捗状況は。

市長 実施済みが81事業ということから、進捗率は81%となっている。

山内 その政策が市民目線と市長目線、同じ方向を向いているのか。

市長 100の政策自体が市民の皆様と作り上げたものであるからこそ、壱岐の未来という同じ方向を向いていると確信している。

山内 先に向けて、必ずやり遂げるべき重点政策は。

市長 人が住み続ける島であり続けるために、島のアップデートと捉える4つの町が持つ特徴や歴史を生かした、4つのみなとプロジェクトである。

山内 財源の問題もある。公約で、ふるさと納税を30億円にする目標を掲げてあったが、その根拠は。

市長 まさにできていない1つがこれである。3倍に引き上げるには、新たな制度づくりに着手し、壱岐がふるさと納税の聖地となる取組を行いたい。

山内 市民に見えなければ自己満足になってしまふ。是非、見える形で表していただきたい。

壱岐市消防団について

山内 団員の減少に伴う再編(一本化)の予定は。

消防長 現時点では、現在の地区ごとの分団体制を維持する。

山内 団員の平均年齢と女性消防団員数は。

消防長 平均年齢は42.6歳で、女性消防団員は音楽隊が主で16名。

山内 地域防災力の向上に、崇高な使命感溢れる仲間の入団を強く望みます。

壱岐市消防団について (令和8年3月1日現在)

名称	分団数	団員数
壱岐市消防団本部		6
郷ノ浦地区本部	8	236
勝本地区本部	7	171
芦辺地区本部	11	255
石田地区本部	3	115
合計	29	783



清水 修 議員

質問 地域共生社会の実現に向けての取組は

答 地域助け合い・支え合いフォーラムでの市内事例を他地域へ展開・支援する

清水 高齢者福祉の充実において、交通移動支援はどれくらい進んでいますか。

保健環境部長 本年度中に地域公共交通計画を策定。8年度にこの計画を基に、陸上交通における路線バスの再編とデマンド交通への転換等の具体的な利便増進計画を策定し、新たな交通手段の実証実験を行う。令和9年度からの実装を目指す。

新しい人の流れをつくる取組について

清水 地域の価値と新しい人の流れが未来をつくる島、希望の持てる島づくりについて3点伺う①カルチャーターミナルの魅力を再発見は。

総務部次長 IKI TONEプロジェクトでは、色をテーマにした魅力の再編を進めている。最終的に

は、ぎ岐の色として50色ほどの色見本表を作成し、例えば島内事業者が土産袋に使う、商品化を目指す、など新たな魅力を発信していく。

清水 ②二地域居住促進の取組は。

地域振興部長 これは国土交通省の補助制度を活用した取組で、特定居住支援法人の指定制度を整備し、ぎ岐市特定居住促進協議会を設立。2月に説明会を開催し、意見交換会を行っている。今後は、二地域居住者の具体的な取り扱いについて協議を進める。

清水 二地域居住の特定区域は。

地域振興部長 現在、芦辺浦と瀬戸浦の2地域選定し、進めている。

清水 ③文化スポーツの振興は。

地域振興部次長 ウルトラマラソンは、1,000人突破を目指すために8年度は仮設トイレの洋式化、見送りの強化、動画を撮影して、ぎ岐の魅力をさらに発信していく。文化面では、ピース文化祭の成果をもとに、離島の俳句の聖地を目指して「離島俳句甲子園」の取組に挑戦する。



菊池 弘太 議員

質問 市長就任から2年、市制運営の所感は

答 100の政策の進捗状況が81%ということで、着実に前に進み始めている

市長 一方で、取組の中には、「種をまき、芽が出始めた段階」であり、市民の皆様がその変化を体感するまでには、一定の時間が必要。特にぎ岐新時代プロジェクトは、本市の未来を左右する壮大な挑戦。3月30日にこれまでの進捗と今後の方針を発表したい。これら市の取組についても「伝える広報」から「届く広報」へと、時代に合った情報発信に努めていく。

エンゲージメントパートナー企業との関わり方について

菊池 企業との連携が見えにくい、という市民の声に対して、どのように周知していくのか。また、締結を解除する場合はあるのか。

総務部次長 HPへの掲載やイベント等を通じて、パートナー企業との共創状況を発信していく。また、パートナー企業と多様な接点を持ち、関係性を長く継続することで、本市への経済的な還元へとつなげるため、活動がないからすぐに解除する、という考えはない。

指定管理者制度について

菊池 公平性の観点から公募が原則であるが、今後の方針と情報発信について。

産業推進部長 指定管理の中には、老朽化やサービス内容の見直しが必要な建物がある。次の3年後を待つことなく、民間企業等での運営を検討する。また、情報発信については、SNSでの発信を強化していく。



ぎ岐新時代対話会(3月30日開催)



山口 欽秀 議員

質問 ふれあいサロンの充実を

答 地域のニーズに応じていく

山口 サロンへの講師派遣を12回から6回に減らすのは充実に逆行するのでは。

保健環境部長 地域の皆様が主体となり、気軽に集い、支え合う通いの場だ。

山口 充実策についてどういう考えか。

保健環境部長 専門職の単発的な介入より、参加や社会的なつながりが重要だ。

山口 講師の派遣は必要だ。啓発に欠かせない。人手を増やして充実のための努力を。

老人ホームの改善策について

山口 養護老人ホームの定員は110名だが、現在は87名の入所だ。なぜ23名の空きがあるのか。

保健環境部長 12室を感染対象対応のために確保してきた。

山口 入所者を増やすことの手立ては。

保健環境部長 入所者を増やすため、勤務シフトの調整や入所手続き期間を短縮する。

山口 安心して入所できる介護人材の確保を。

高齢者の交通安全と移動支援策について

山口 高齢者の免許返納支援策は。

総務部長 バス乗車カードの交付、交通事業者がタクシー料金の1割引等を行っている。

山口 もっと思い切った支援策を。

総務部長 様々なご意見を参考に、慎重に検討している。

山口 日常生活を支えるコミュニティ交通の整備は。

総務部長 予約制オンデマンド型乗合交通の導入を検討している。

山口 オンデマンド交通の事業はなぜ進まないのか。

総務部長 モデル地域、実証地域の選定を行い、進める。

山口 高齢者は困った生活が続く、早くできないのか。

総務部長 早期運用に向けて、現在、取組を進めている。



市民の声

「議会だより第88号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。



第87号の市民の声の方々に賛同です。その中で一番領いたのが、野犬の問題です。家の周りをウロウロしたり、声が聞こえたり、熊みたいな被害はないとしても益々増えると思うとこわくて散歩に行くのも考えたりします。

3月をもって我が母校の勝本幼稚園がいよいよ閉園となり、さみしさを覚えます。閉園となっても幼稚園での思い出・出来事は忘れることはないでしょう。我が幼稚園70年間ありがとう。(38歳)

見かける公園で遊具が使えなくなっている所が多く、小さい子どもの遊べる場所が少なくなってきたので残念です。子どもは外でのびのび育てたいので、遊具を少しずつ修理していただけたら良いなと思います。(43歳)

12~2月はコタツに入ってクイズ解きで自由時間を楽しみ、春になったのでそろそろウォーキングを再開せねばと思っています。健康のために皆さんも何かしてくださいね。(73歳)

国道の路面が凸凹でいたんでいます。(66歳)



(左) 勝本幼稚園閉園式 (右) 箱崎幼稚園閉園式

行政視察へ行ってきました

出席議員からの
報告（一部抜粋）

議会広報特別委員会

視察先：大阪府八尾市議会・（株）ジチタイワークス
（令和8年1月27日～28日）

視察内容：議会広報の取組について、広報紙等の作成について

八尾市議会

- ・選挙権の18歳への引き下げに伴い、学生にも関心を持ってもらうために市内の高校や、近隣の大学とコラボ企画を実施している。若い世代からの意見を反映し、文量を少なく、写真を入れて読みやすい誌面づくりが印象的だった。
- ・高校生とのコラボ、大学生との連携はすばらしいと思った。吉崎でも学校の理解を得て実施してみたいし、高校生の新鮮なアイデアや考えを聞いてみたい。
- ・吉崎市の議会だよりはこれまでの編集がかなり定着しているが、委員として特集ページの編集について検討する機会にしていきたい。



ジチタイワークス

- ・表紙が自治体のマークになっていると知り、そのデザインへのこだわりに関心した。ぜひ、吉崎市のマークも見てみたい。
- ・単なる情報提供にとどまらず、自治体同士のネットワーク形成や職員の意識改革を後押しする役割も果たしており、現場目線に立った支援体制が整備されている。
- ・今後の取組の話の中で、特にデジタル技術を活用した地域サービスの改善に対する意欲が伝わった。

市民文教常任委員会

視察先：愛知県一宮市（令和8年2月13日）

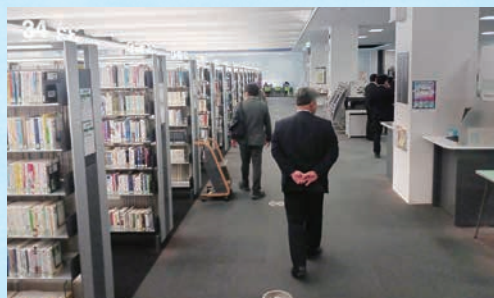
視察内容：子育て支援の取組について・中央図書館について

子育て支援の取組について

- ・乳幼児を持つ保護者向けに多様な支援メニューが整備され、相談支援から仲間づくりまで幅広いサービスが展開されていた。
- ・合併特例債を使い、整備された一宮駅ビルを利用した、中央子育て支援センターの一時預かり等と中央図書館との連携が子育て世代により利用しやすくなっていた。

中央図書館

- ・駅ビル施設のため、広範な利用を対象としていた。特に、学生の学習のための施設が充実していた。静かに集中して学習に取り組める配慮された取組がなされていた。
- ・特色のある取組として、購入後一度も貸し出しされていない書籍を集めて紹介する「未貸出本コーナー」や汚損・書き込み・切り取りなどの被害を受けた書籍を実際に展示してマナー向上を訴えるコーナーが設けられており、視覚的に訴える効果的な啓発手法として大変興味深かった。



意見交換会報告

● 総務産業常任委員会と壱岐文化協会・郷ノ浦町文化協会・勝本町文化協会・芦辺町文化協会・石田町文化協会

日時：令和8年2月17日 午後1時30分～

参加者：議会 総務産業常任委員会委員長 植村 圭司 ほか委員 4名
壱岐文化協会会長 竹田 雅美氏、郷ノ浦町文化協会会長 牧本 行秀氏、
勝本町文化協会会長 山口 宏司氏、芦辺町文化協会会長 前田 登美氏、
壱岐市文化団体協議会・石田町文化協会会長 福田 豊治氏、
石田町文化協会顧問 若宮 泰治氏 6名

合計
11名

◆ 意見交換会の議題

— ながさきピース文化祭2025を終えて —

昨年9月から11月に実施された「国民文化祭」は、一過性のイベントで終わらせることなく「文化を通じたひとづくり、基盤づくり、地域づくり」の継続が目標だった。その実現のため、人口減少、高齢化等の課題を乗り越え、後継者育成や交流人口拡大のための施策や仕組みづくり等が重要との認識を共有し、議員の活動に生かすこととした。



● 市民文教常任委員会と壱岐市消防団

日時：令和8年3月27日 午後6時30分～

参加者：議会 市民文教常任委員会委員長 山川 忠久 ほか委員 7名
壱岐市消防団団長 安川 昭彦氏、本部副団長 加勢田 啓氏、
ほか副団長 4名

合計
14名

◆ 意見交換会の議題

- ・消防団員の確保について
- ・地域活動への関わりについて
- ・装備品や格納庫の維持・更新について

消防団員数は年々減少しており、団員確保の対策について検討を重ねる必要がある。消防団員は、火災消火、救助、災害時の対応、市のイベントでの立哨・警備等様々な活動を行っている。壱岐市の安全・安心を将来に渡って守るため、今後も持続可能な消防団運営と防災体制の構築について考えを深めていきたい。



お詫びと訂正

前回第88号、6ページの発議第8号・第9号の賛否の数に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【誤】 発議第8号 賛成3人、反対11人
発議第9号 賛成4人、反対10人

【正】 発議第8号 賛成11人、反対3人
発議第9号 賛成10人、反対4人

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。皆さんのご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで良く読んでみてください。



Q1 6月1日より、市民部は〇〇〇部へ名称を変更する

Q2 3月定例会で一般質問を行った議員は〇人

Q3 市民文教常任委員会が吉崎市〇〇と意見交換会を開催した

前回クイズの答え

- ① 5
- ② 出雲
- ③ 35

前回クイズの当選者

正路ちひろ 様
白井 邦夫 様
中山 享子 様
白川 泰子 様
辻口久美子 様
おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだ感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉崎市勝本町西戸触182-5 吉崎市議会事務局宛

《しめきり》 令和8年6月11日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

春の息吹が感じられる5月、自然は生命力に満ち溢れ、日差しも心地よさを増してまいりました。新緑が色鮮やかに芽吹き、花々が咲き誇る季節となり、市民の皆様と共にある日常の大切さを再確認する時期でもあります。

私たちの議会は、地域の皆様により良い生活を送れるよう、様々な取組を進めてまいります。今月の広報紙でもそれぞれの活動や企画を通じて、地域の活性化や市民の声を大に伝える姿勢をお伝えできればと思います。

赤木 貴尚

議会広報特別委員会
委員長 酒井 真吾
副委員長 中田 恭一
委員 菊池 弘太
松本 順子
樋口伊久磨
清水 修
赤木 貴尚
音嶋 正吾

お知らせ

吉崎市ホームページ <https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の音声を生で聴くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
吉崎市議会議員一同

発行責任者 議長 土谷 勇二 編集 議会広報特別委員会

〒811-5521
長崎県吉崎市勝本町西戸触182-5
TEL : 0920-42-1114
FAX : 0920-42-0096
【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp
【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

